



2013年
参院選特集号

自民石川

自由民主党
石川県支部連合会
組織広報本部

金沢市鞍月5-255
TEL 076(237)0911 代表
FAX 076(237)0915
http://www.hokuriku-web.jp/jf-isikw/

直前インタビュー

石川の元気創出に 即戦力で応えます

今夏の参議院選挙は、衆参のねじれを解消し、決める政治を取り戻す大切な選挙です。石川県選挙区では、農林水産省OBで新人の山田修路さんが公認候補として立候補します。その山田さんに石川づくりのビジョンを聞きました。

石川ブランドの 向上が武器に

——石川の元気を創出するための武器は何でしょうか。

古里を離れ東京や海外から石川を客観的に見た時、洗練された文化や伝統、美しい自然が豊かにあり、他にはない個性だと気づかされました。しかし、発信力の不足でその魅力がうまく伝わっていません。例えば、加賀野菜を販売する際、料理レシピを添えるなど、常にお客様の視点で情報を発信することが重要です。地域間競争が激しさを増す中、石川のブランドイメージを高めることが大きな武器になります。そのためには官民の密接な連携が不可欠で、県民も石川の魅力



やまだ しゅうじ
山田修路さん

昭和29(1954)年、加賀市出身。東京大卒後、農林省入省、外務省参事官(OECDパリ勤務)、農村振興局長、生産局長、水産庁長官、農林水産審議官など歴任。趣味は水泳、ウォーキング、バドミントン。家族は妻と娘、愛犬

石川の農産物を 海外市場でも販売

——TPPへの参加で日本の農家に不安が広がっています。

まず、国益を確保するために交渉していくのが基本スタンスです。同時に、日本の農産物の販路として、もっと海外に目を向けるべき時代です。特に、アジアの新興国は経済発展で国民所得が急激に伸び、高くても品質や安全性に優れた日本の農産物を買ってくれるチャンスが広がっています。既に、青森産リンゴはアジアのマーケットで人気の高級フルーツになっています。

石川を自然と生活が 調和したモデルに

——地方でも、特に田舎は過疎の進行や限界集落の増加に悩んでいます。

田舎と呼ばれる地域を支えてきた主な産業は農林水産業です。例えば、農林水産審議官時代、世界農業遺産認定のお手伝いをさせて頂いた能登では、豊かな里山・里海の環境を生かした農家民宿が大変な人気です。地域に新たに雇用が創出され、県外から移住する若者も現れています。そんな体験型観光も地域に賑わいを生み、農林水産業にも活力を与えています。21世紀は環境の世紀と言われ、能登、白山麓をはじめ豊かな自然と独特の文化を育んできた石川県は、自然と生活が調和したモデルとして大きな可能性を秘めており、地域を元気にするブランド力の向上にぜひつなげたいと思います。

北陸新幹線開業で 逆ストローを作ろう

——金沢開業まで2年を切りました。どうすれば開業効果を高められますか。

新幹線で金沢へ来た方が加賀や能登へも足を運ぶことで宿泊数も増え、県全体に潤いが行き渡ります。そのためには、加賀や能登の魅力さをさらに高め、金沢とのアクセス向上にも力を注がなければなりません。行政だけでは限界があり、企業や地域住民も一体の「オール石川」の体制をより強固にすべきです。賑わいを首都圏から吸い取る逆ストローの心意気で、私も経験を生かして力を尽くす覚悟です。

山田ってこんな人

山口登志起さん(加賀市在住)



人の悪口を聞いたことない

山田さんとは小・中学校の同級で、よく外で遊びました。昔から威張るところがなく、人の悪口を言うのを聞いたこともありません。そんな性格ですから、彼が帰郷すると必ず同級生が集まって会食をするんです。大変な仕事をしているんですが、自慢話もしません。何歳になっても変わらないいい男です。



世界農業遺産に認定された輪島・千枚田で



加賀市の街頭で政策を訴える

ダブル“しゅうじ” 山田修路(県選挙区) 宮本周司(比例代表) に期待



山下哲男さん(金沢市)
山下工業(株)代表取締役社長
日本乾式ブルーピング
施工協会副会長

今こそ安心の国土へ

建設・土木業は、民主党政権の愚策で瀕死の状態です。国土強靱化が日本の再生と経済成長には不可欠で、産業人として安倍政権の長期安定を望みます。北陸新幹線は、東海道新幹線の補完代替機能も持ち、早期に全線完成をめざすべきです。とにかく国民が安心して暮らせる国づくりに力を注いでほしい。



松多 愛さん(野々市市)
(株)アトラス専務取締役
金沢ゾンタクラブ会長

体も産業も元気に

アベノミクスによる景気回復の実感は正直まだですが、エステで来店されるお客様の単価が上がっているのは事実です。店は自然食レストランも併設し、使う食材をすべて県内で調達できれば、私たちもハッピーです。農林水産業に精通した山田さんに頑張って頂き、体も地場産業ももっと元気にして下さい。



北野ゆかりさん(能美市)
能美市商工会女性部長
石川県商工会女性部
連合会副会長

政治で弱者に光を

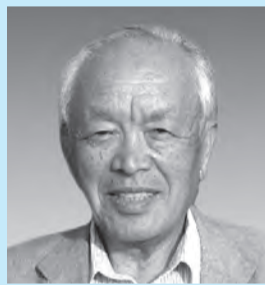
昨年度、地元で買い物弱者を支援するモデル事業を行いました。大変好評でしたが、ボランティアの力には限界があります。やはり政治の力が重要です。また、地域の雇用と暮らしを担う中小零細企業も疲弊しています。わが地元の宮本周司さんはその代弁者であり、国政で絶対に活躍して頂きたいと思えます。



浅井 克さん(金沢市)
金沢市高砂大学校同窓会長
いしかわ長寿大学同窓会長

生涯学習の拡充望む

高砂大学同窓会には現在43のクラブがあり、3300人の会員が参加して充実した時間を過ごしています。趣味や生きがいを持つことが健康の秘訣であり、引いては国民医療費の抑止につながります。生涯学習や生涯スポーツを幅広い年代へ拡充し、日本の活力を増して下さい。山田さん、宮本さんへの期待です。



新田良孝さん(穴水町)
能登ワイン(株)常務取締役
穴水町観光物産協会副会長

再生の芽の後押しを

世界農業遺産認定、のと里山海道無料化、そして北陸新幹線開業など、能登再生に追い風が吹いています。交流人口の拡大で観光業が活性化すれば、農林水産業や地場産業なども元気になります。山田さんには、荒廃農地の復旧と規模拡大、それに農業分野の後継者対策などでぜひ力を発揮して頂きたい。



石村未紀さん(金沢市)
主婦
事務員

育児を社会全体で

小学校1年生の息子がいます。育児と仕事の両立はなかなか大変で、近くに住む両親の手を借りたりします。未来を担う子供の健やかな成長のために、社会や地域でしっかり支え合うシステムを充実してほしいですね。そして子供が外で安心して遊べるよう、不審者対策も含めたまちの安全向上を強く望みます。

自民党石川県連会長
岡田直樹 参議院議員

山田、宮本さんを絶対、国政へ



昨年暮れの総選挙で自民党は政権に復帰し、「一刻も早いデフレ脱却を」の公約の実現に現在、総力を上げて取り組んでいます。この景気回復の歩みをより力強くするためにも、与野党が逆転する参院の状況を今回の選挙で何としても変える必要があります。

マスコミは“自民圧勝”との予測記事を出していますが、選挙は最後まで何が起きるか分かりません。党員が一丸となって、石川県選挙区では山田さん、比例代表では宮本周司さんの当選を絶対に勝ち取らなければなりません。

このままでは、投票率が上がらない恐れがあります。北陸の景気回復はもとより、北陸新幹線のフル規格での早期全線整備にこぎつけるためにも、恥ずかしくない得票が必要です。皆様の地域や職場でも、参院選での投票を積極的に呼びかけてください。よろしく願い申し上げます。

比例代表 宮本周司氏に聞く

私も商工業者の一人であり、地域に根づく小規模な企業に焦点を合わせた振興策の実現を自身の使命と刻



みやもと しゅうじ
宮本周司さん

昭和46(1971)年、辰口町(現能美市)出身。東京経済大卒業後、家業の宮本酒造店入社、現在、代表取締役。石川県商工会青年部連合会長、全国商工会青年部連合会長など歴任。趣味は音楽鑑賞、家族は妻と娘

全国商工政治連盟の推薦を受け、自民党公認で比例代表に出馬します。全国を回って痛感するのは、地方経済の深刻な沈滞です。日本の企業の99%は中小企業、わけても家族経営が主体の零細企業が大半です。しかし、戦後の経済政策は輸出を中心とする大企業の育成に軸足が置かれ、小規模な企業は置き去りにされてきました。そのつけと歪みがいま吹き出しているのです。

み、選挙戦に臨む決意です。「中小零細企業の元気なくして、地方の元気なし。地方の元気なくして、日本の元気なし」です。地元選出の国会議員の先方による石川県や地域のための活動を経済面から下支えることで、賑わう地域の実現と、共通目標である地方再生に努めてまいりたいと思っています。どうぞご支援よろしくお願ひします。

小規模企業を振興させ
地方の元気を取り戻します